

参議院議員 石田まさひろ 活動報告

発行 18/03/22 No. **035**

〒100-8962

東京都千代田区永田町 2-1-1

参議院議員会館 1101 号室

☎ : 03-6550-1101

☎ : 03-6551-1101

✉ : info@masahiro-ishida.jp



写真は3月9日に石田まさひろ政策研究会が主催した第3回診療報酬研究会の様子です。厚生労働省医政局の担当者を招き参加者と意見交換も行いました。

診療・介護報酬改定

4月から報酬が改定します。皆さんからお寄せいただく声をもとに関係省庁との折衝で、特に私が注力した項目の一部を紹介します。

❖ 入院基本料の見直し

急性期病棟の入院基本料の区分が「看護職員数」から「患者の重症度などによる実績」での評価に変わります。今後、各医療機関に看護配置数の決定を委ねられるため、患者の状態に応じて適切な看護職員数が配置できるよう、経営陣との交渉が求められます。

尚、審議の過程で、7対1の基準を採用できる医療機関が大きく減らされることが危惧されました。そのため、厚労省と粘り強く交渉を重ね、今回は従来の7対1を実質維持できる結果となりました。

❖ 外来看護の役割を変える「入院時支援加算」の新設

今回から、入院診療計画の説明や看護計画立案などを外来で行った際に「入院時支援加算」が加算されます。従来、入院時にされたいた病棟看護業務が、大幅に縮小します。退院調整から、退院後までを見据えた“入院調整”が



外来の仕事となり、外来看護が担う役割の変化に期待がかかります。

❖ 記録・事務作業の合理化・簡素化に向けた見直し

「記録や手続きが増えケアの時間が減っている！」という声が現場から噴出しています。これに応えたく当局と折衝を繰り返しました。看護連盟の力も強くあり、これまで長年に渡って増加してきた記録類を合理化・簡素化の方向で見直すことになりました。これを第一歩として施設での見直しが進むことを期待しています。

他にも以下のことを中心に取り組んで参りました。

❖ 療養病棟等の「夜間看護配置加算」の新設

❖ 看取りの環境整備を強化

❖ 訪問看護における看護職の複数名訪問、過疎地への訪問看護加算の条件緩和

最近の主な活動

- 1月11日: 現場の声を届ける会 (茨城)
- 1月15日: わかしの会
- 1月16日: 執行部会、国会対策委員会正副会議
- 1月22日: 通常国会開会式
- 1月25日: 財務金融部会 金融調査会合同会議 本会議
- 2月7日: 資源エネルギー委員会
- 2月9日: 人工知能未来社会経済戦略本部
- 2月15日: 社会保障制度に関する特命委員会
- 2月16日: 憲法改正推進本部
- 2月18日: 第3回介護報酬研究会
- 2月22日: 資源エネルギー委員会視察
- 2月25日: 現場の声を届ける会 (和歌山)
- 2月26日: 人生100年時代戦略本部
- 3月2日: 厚生労働部会
- 3月5日: 国際法務総合センター視察
- 3月9日: 第3回診療報酬研究会
- 3月13日: 参志会 安倍総理との懇親会
- 3月15日: 終末期医療に関する検討PT
- 3月20日: 厚生労働委員会



参議院議員

石田まさひろ

<http://www.masahiro-ishida.com/>

発行: 石田まさひろ政策研究会

自由民主党東京都参議院比例区第四十六支部